

指導者 神原 欣也

指導者 神原 欣也

- ## 2. 本時のねらい

- ・食塩が水にとけることについて考え、出てきた疑問を解決するための実験の計画を立てることができる。

- ### 3. 本時の展開

学習活動	センター指導主事の支援
1. センターの先生の話聞く 2. 本時の課題をつかむ 3. 食塩が水にとけることについて、ふしぎに思うことや調べてみたいことを話し合う。(個→グループ→斉) 4. 次の問題について予想する。 ア. 食塩は、水にどれくらいとけるのだろうか。 イ. 食塩の重さは、水にとけるとどうなるのだろうか。 5. 自分の予想を確かめる実験の方法を考える。(グループごとに記録カードに記入。いくつかのグループに発表してもらう。) 6. 次時への連絡	「とける」という言葉の定義を映像などを使って確認させる。 実験方法について、考えることにつまずいている子の質問に対し助言を与える。また、考えついた実験方法について子どもたちの説明を聞き、問題点に気づかせたり、賞揚したりする。

- ## 4. 評価

- 食塩が水にとけることについていくつか疑問を考え出し、それを解決するための実験の計画を立てることができるか。

- ## 5. 事前の打ち合わせの内容

- ## 6. 授業を終えて

- ## 7. 本授業の生かし方

- A 来年度もお勧め B 改良すればお勧め C 勧められない